3面 注目テレビ　4面 コンサート・ステージ案内、道内のイベント、ぎゃらりぃ

くらしの新聞 Green Town グリーンタウン
週刊 まんまる新聞
発行所 くらしの新聞社
〒004-0055 札幌市厚別区厚別中央5条4丁目3-4(JR厚別駅前)
電話(代)892-4110　FAX 892-4116
http://manmaru-sinbun.com
e-mail:info@manmaru-sinbun.com
次回発行／1月31日(金曜日)

暖冬？雪恋!! 寒の空

一週間の暦

1月24日(金) 旧12月30日 大安
月出 6:34 日出 6:58 月入15:45 日入16:35 月齢28.9

1月25日(土) 旧1月1日 先勝
月出 7:18 日出 6:57 月入16:46 日入16:37 月齢0.2(新月)
日本最低気温の日
(1902年、旭川市で日本の公式最低気温-41.0℃を記録した)

1月26日(日) 旧1月2日 友引
月出 7:55 日出 6:56 月入17:48 日入16:38 月齢1.2(繰月(せんげつ))
文化財防火デー
(1949年、法隆寺金堂が火災で焼損したことから制定)

1月27日(月) 旧1月3日 先負
月出 8:27 日出 6:56 月入18:50 日入16:39 月齢2.2(三日月(みかづき))

1月28日(火) 旧1月4日 仏滅
月出 8:54 日出 6:55 月入19:51 日入16:41 月齢3.2

1月29日(水) 旧1月5日 大安
月出 9:19 日出 6:54 月入20:51 日入16:42 月齢4.2
1957年、日本の南極観測隊が南極のオングル島に昭和基地を開設

1月30日(木) 旧1月6日 赤口
月出 9:41 日出 6:53 月入21:50 日入16:43 月齢5.2

雪まつりつどーむ会場が先行開幕

自然の中で雪とふれあうをコンセプトに1月31日から
雪まつりつどーむ会場先行開幕
大通・すすきの2月4日～11日

すべり台やスノーラフトなど、子供から大人までが北海道の自然の中で雪とふれあうことができる―を会場コンセプトとした「さっぽろ雪まつり」のつどーむ会場（東区栄町885―1／札幌市スポーツ交流施設コミュニティドーム＝愛称・つどーむ）が1月31日（金）に先行開幕する。期間は2月11日（火・祝）までで、時間は午前9時～午後5時（一部アトラクションは午後4時まで）。また、大通・すすきの会場の開催期間は2月4日（火）～11日（火・祝）に予定されている。

会場では、チューブスライダーやスノーラフト、そりゲレンデをはじめ、さまざまな雪遊びコーナーが登場する。このほか、よさこい演舞やNHKの人気キャラクターによるステージ、北海道内外のアイドルによるライブステージなど幅広い年齢層が楽しめるプログラムがいっぱいの「あったかふれあいステージ」、バルーンを用いた体験型アトラクションを中心とした「つどーむキッズパーク」、ウインタースポーツ簡易体験や雪の絵本図書館などを通じて、雪国ならではの暮らしや文化を感じることができる「雪育ひろば」、つどーむホットCAFEほかが並ぶ。

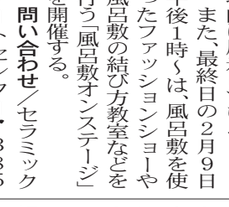
つどーむ会場の開会式は31日午後1時から行われるという。

問い合わせ／さっぽろ雪まつり実行委員会☎281―6400。

自然ふれあい交流館がスノーシュー観察会
「冬の森をスノーシューで歩こう」
2月16日、10時～

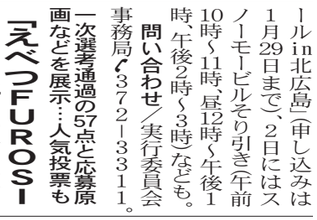
自然ふれあい交流館のスノーシュー観察会「冬の森をスノーシューで歩こう」が2月16日（日）午前10時～午後1時30分、同交流館（野幌森林公園、大沢口奥）を集合場所に開かれる。参加無料。対象はスノーシュー経験者。定員は先着10人。事前申し込みを。

西洋かんじき（スノーシュー）を履いて、雪を楽しみながら冬の森を散策する。コースは同交流館～ふれあいコース～埋蔵文化財センター（昼休憩）～記念塔連絡線～ふれあいコース～同交流館の約3・5㎞。防寒ウエア、手袋、帽子、防寒靴などで。昼食も持参して。


スノーシュー観察会

申し込み・問い合わせ／同交流館☎386―5832。

北広島ふれあい雪まつり


「大学生が教える ロボット相撲講座」

道科学大学生を講師に強いオリジナルロボット作り
「大学生が教えるロボット相撲講座」
2月15日、青少年科学館

札幌市青少年科学館の「大学生が教えるロボット相撲講座」が2月15日（土）午後1時30分～2時30分、同科学館3階実験室（サンピアザ隣り）で開かれる。参加無料。対象は小学3～6年生で、定員は32人。申し込みは1月31日（金）まで。多数時抽選。

講師は、北海道科学大学ロボットダイナミクス研究室の学生。オリジナルのロボットを作って、相撲のルールで勝敗を決める。大学生のお兄さんたちと一緒にロボット作りにチャレンジし、どうすれば強いロボットを作ることができるか考えていくという。

申し込みは、同科学館のホームページ、FAX、往復ハガキ、館内の専用申込用紙のいずれかで。

問い合わせ／同科学館☎892―5001。

食のイベント「寒地焼肉まつり」や花火大会も
「第34回北広島ふれあい雪まつり」
2月1日～2日、市イベント広場

ジャンボすべり台やちびっこすべり台、スノーモービルなど、雪国ならではの遊びがいっぱいの「第34回北広島ふれあい雪まつり」が2月1日（土）昼12時～午後6時、2日（日）午前9時30分～午後3時、北広島市イベント広場（共栄314、総合体育館横）で行われる。ご当地ジンギスカンが味わえる食のイベント「寒地焼肉まつり」（1日午後1時30分～、2日午後1時～）や、2日午後5時30分～花火大会（雨天中止）も。

問い合わせ／同交流館☎386―5832。

「続・深夜食堂」、「独裁者」、「風と共に去りぬ」ほか…
3日間で6本上映「えぽあ映画会」
1月28日～30日、えぽあホール

「続・深夜食堂」、「独裁者」、「海炭市叙景」、「新しい風」、「風と共に去りぬ」…1日2作品ずつ、3日間で計6作品の映画を上映していく。「えぽあ映画会」が1月28日（火）～30日（木）の午前10時～と午後1時30分～、えぽあホール（大麻中町26―7、JR大麻駅5分）で開かれる。参加無料。直接会場へ。

上映作品は次の通り。

◇1月28日（火）▽午前10時～「続・深夜食堂」（2016年／日／松岡錠司監督／108分）、▽午後1時30分～チャップリンコレクション「独裁者」（1940年／米／チャールズ・チャップリン監督／126分）。

◇1月29日（水）▽午前10時～「ミラーを拭く男」（2003年／日／梶田征則監督／117分）、▽午後1時30分～「海炭市叙景」（2010年／日／熊切和嘉監督／152分）。

◇1月30日（木）▽午前10時～「新しい風」（2003年／日／松島哲也監督／119分）、▽午後1時30分～「風と共に去りぬ」（1939年／米／ビクター・フレミング／212分）…休憩あり。

問い合わせ／えぽあホール☎387―3120。

風と共に去りぬ

～まんまる新聞は無料です～
1月24日号発行配達部数
江別市域 49,849部 厚別区域 61,059部
(清田区平岡公園東、北広島市虹ヶ丘・西の里含む)
合　計 110,908部
配達モレがございましたら、お気軽にご一報下さい

読み終えた災害防災関連図書の収集ボックス
各図書館などにある収集ボックス

図書や資料」を収集中
100円古本市ほか…本の魅力を再発見！
大麻銀座商店街ブックストリート
1月25日、10時～16時

本の魅力を再発見できるイベント「第49回大麻銀座商店街ブックストリート」が1月25日（土）午前10時～午後4時、江別市大麻銀座商店街（大麻東町13）で開かれる。約3000冊の古書を1冊税込み100円で販売する「100円古本市」やレコードマーケット、人文書、芸術本などの古書販売、セレクトブックの販売などがある。「北海道ブックフェス公開ミーティング」（午後3時～4時）も予定している。

◇「災害や防災に関する図書や資料」を収集中

北海道ブックシェアリングは、家庭や会社などで読まなくなった東日本大震災や災害、防災に関する図書、資料、DVDを収集している。収集期間は2月8日（土）まで。寄せられた図書などは、3月10日（火）～11日（水）午前11時～午後7時に札幌駅前通地下歩行空間チ・カ・ホで開催される震災関連イベント「3・11SAPPORO SYMPO」で展示。その後は、札幌エルプラザ公共4施設内で活用するという。

収集する図書・資料は、東日本大震災や胆振東部地震に関する書籍・雑誌・資料・DVD・地図のほか、地震や風水害、雪害などの自然災害、人災、公害、ボランティア、NPO、避難・被災関連の書籍・雑誌・資料・DVD・地図など。寄贈方法は「厚別図書館、清田図書館ほか、札幌市内の図書館や北海道立図書館、ブックシェアリング事務所（大麻東町13―52）にある収集ボックスへの持ち込み、郵送（元払）で。また、寄贈の本が100冊以上ある場合はスタッフが集荷に行くという。

問い合わせ／北海道ブックシェアリング☎378―4195。

「えべつFUROSIKIフェスティバル」

一次選考通過の57点と応募原画などを展示…人気投票も
「えべつFUROSIKIフェスティバル」
2月9日まで、セラミックC

「えべつFUROSIKIデザインコンテスト2019～結ぼう、包もう、広げよう～」が2月9日（日）までの午前9時30分～午後5時（最終入場は午後4時30分まで）、セラミックアートセンター・2階企画展示室（西野幌114―5）で開かれている。観覧無料。

今回は、558点の応募があり、一次選考を通過した57点が風呂敷に仕立てられて会場内を彩っている。会期中の2月2日（日）までは、風呂敷になった作品の人気投票も行われている。一次選考の通過を逃した501点の作品も、原画を会場内に展示している。

また、最終日の2月9日午後1時～は、風呂敷を使ったファッションショーや風呂敷の結び方教室などを行う「風呂敷オンステージ」を開催する。

問い合わせ／セラミックアートセンター☎385―1004。

夜の動物園を動物園職員と一緒にツアー形式で
冬の夜の動物園プレミアムツアー
2月22日、23日、17時30分～

動物の魅力や生態、動物園の持つ役割などの詳しい解説を聞きながら、夜の動物園を職員と一緒にツアー形式で回っていく、札幌市円山動物園の「冬の夜の動物園プレミアムツアー」が2月22日（土）午後5時30分～7時30分＝親子ツアー＝と23日（日）午後5時30分～7時50分＝大人ツアー＝、同動物園（中央区宮ヶ丘3―1）で開かれる。参加無料（高校生以上は入園料600円）。申し込みは1月27日（月）まで。定員は各日90人。応募者多数の場合は抽選。

親子ツアーの対象は小学生以上中学生以下の子供と、その保護者のグループ。大人ツアーは高校生以上のグループまたは個人で、いずれも1回の申し込みは最大5人まで。15人×6グループに分かれて、職員のガイドにより園内のツアーをする。

申し込みは電話（☎622―4894）、WEBで札幌市コールセンターへ。

問い合わせ／同動物園☎621―1426。

2020.1.24

散歩道

積雪統計が開始された1961（昭和36）年以来、初めてといわれる記録的な雪不足が続いている。早朝、久しぶりに少しまとまった降雪のあった1月16日午前9時現在の積雪をみても、札幌市中央区18㎝（札幌管区気象台データ／平年比35％）、江別市30㎝（元江別土木事務所データ／過去5ヵ年平均の54％）―と、雪は極端に少ない。新篠津などは比較的多い方だが、たいがいの地域が平年の半分以下、30～50％程度しか積もっていないのが実情だ▼季節が寒入りしたわりには、積雪は異常ともいえる少なさだから、冬のイベントが中止になったり変更になったり関係者が四苦八苦する大変な状況。ざっぽろ雪まつりも遠くから何とか雪をかき集めて開催しようと必死だ▼こんな年は〝少雪〟の影響で苦しい思いをしている人々が多いのではないか。道も歩きやすいし雪かき作業がない分だけ楽だから、「ほんとに助かる」と喜ぶ人もいるのだが、その一方で、除排雪に関わる仕事が激減している。最低保証のある除排雪契約もあるが、それでまかなえる売り上げはごく一部で、「社員の給料は払わなければならないし、町内会なんかの除排雪仕事がなくなって…」と収入が減ったり、臨時雇用がなくなったり、雪のないスキー場など冬の観光地はもとより、除雪用具や除雪機、冬物衣料など防寒用品が売れ悩んだり…とにかく、少雪で市中に金が回らない、秋や降雪前に種まきする種類の小麦などをはじめ、雪のふとんとなる積雪が少なく土壌の凍結なども心配され、農業への影響も大きいほか、雪どけを あてにする、春以降の水不足の心配もある▼一升マスは一升マスと言うけれど、降る時はドンと降って、お金が回って暮らしも立つのが北国の経済。〝数年前のように後半に降る冬もある。大変だけど、やっぱり降るものが降らないと、北海道の生活は成り立たない〟と、まとまった雪を今か今かと待っている人も多い。ただ、気象庁が発表した1月11日～2月10日の1ヵ月予報は、全国的に気温が高くなり降雪も少なくなるというもの。日本気象協会によると2～3月も暖冬傾向が続く見込みだという▼オーストラリア全土をおおう大規模な森林火災をはじめ、世界中で頻発する異常気象への不安も強い。不景気に追い討ちをかけるだけでなさそうな、不気味な「暖冬」の影響が気にかかる…。